

いなげの浜貝類生息状況調査・調査手順(簡易版)



1. ①～③の中から採取位置を決めます

毎月最低1箇所採取しますので、未採取位置あるいは、その月の採取回数の少ない位置を選択して下さい

2. 採取ポイントを決めます



採取ポイントの決め方

採取位置付近で、生きた貝(とその可能性のあるもの)が多い場所を見つけます
貝が集まっている場所は、波打ち際から離れている場合もあります(満潮線)

生きた貝(とその可能性のあるもの)の確認は、以下の方法で出来ます

身が付いている

二枚貝で合わさった貝殻が簡単に開けることが出来ない

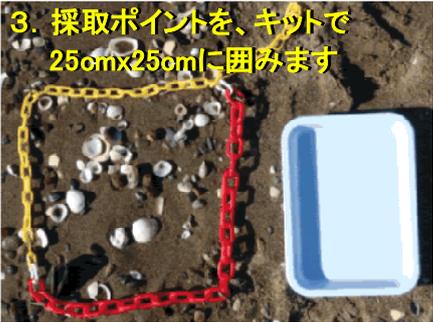
小さな二枚貝で、合わさっている

とても薄くてきれいな貝殻

巻貝で、ふたが付いている

(注意:ヤドカリが入っている貝を、「生きた貝」に分けないで下さい)

3. 採取ポイントを、キットで25cmx25cmに囲みます



4. 採取ポイントを撮影します
左のように、採取ポイントを真上から1枚

5. 枠内の貝を全て拾います

6. 砂を採取します
25cmx25cmの中心部の砂を袋に入れて持ち帰ります

7. 採取後の写真を撮影します
採取ポイントを真上から1枚



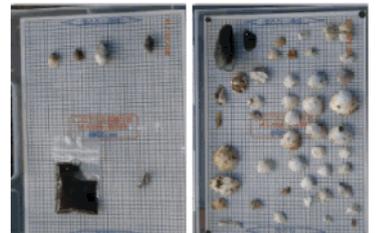
8. 採取位置を撮影します

- (1)ポイントと松林の間に入り、松林に向かって位置が確認できる程度に1枚以上
 - (2)①近くの突堤、②ポール、又は③煙突が見える向きで、波打ち際から距離が分かるように1枚以上
- 以下は、撮影例です



9. 写真マットに貝を並べます

二枚貝と巻貝に分けて、生きたなごりの貝～カケラの様に表向きで並べてください(場合により、何度かに分けます)
まあるい巻貝のみ、裏向きに置いてください



10. 写真を撮ります

なるべく、枠いっぱい写真マットが完全に納まるように真上から写真を撮ってください

11. 身の付いた貝は、元に戻してください

殻だけのものは、袋に入れて持ち帰ります

12. 回収します

調査キットと、写真データ、砂、貝殻を回収します
写真データは、館内備え付けのPCに移してください

注意)写真データを元に、貝しらべを実施します

写真サイズは、大きめの設定をお願いいたします

静止画記録画素数:3968×2976 あれば大丈夫です

※詳細情報は、携帯、スマホ、PCで確認できます
<http://www.yumekuzira.net/inage/kai/>

